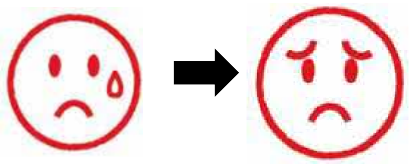
建設業

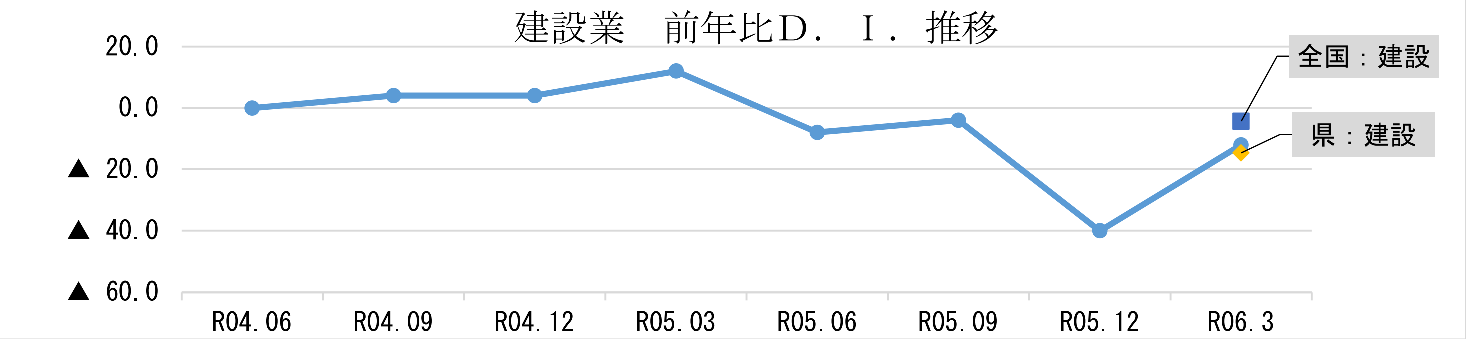
回答率：100%（25/25）

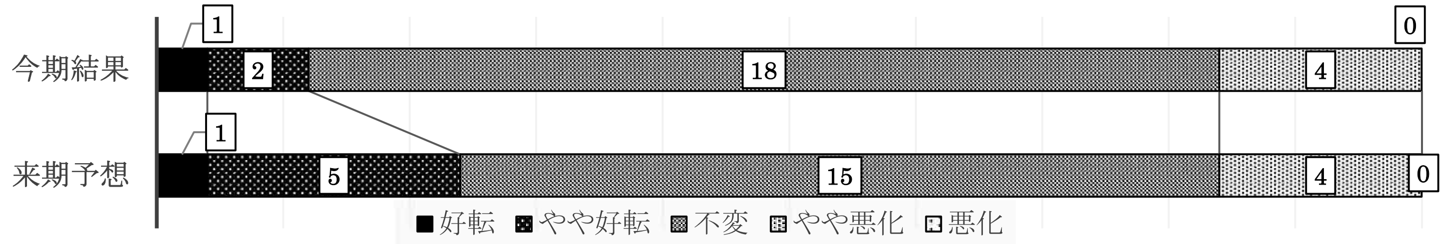
今期　見通し



■丹波市の景況推移

材料価格は落ち着いたが諸経費等の物価高騰の影響により利益確保が難しい状況が続いている。今後の受注見込みについても案件は少なく厳しい状況が続くと想定される。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

電気工事業においては、ケーブル・メーター等の部品の調達が難しく、工事実施の目途が立たない状況が続いている。又、工事価格高騰に伴い、新築層の一部が中古住宅のリフォーム層になっている。リフォームの着工件数は増えるが新築の売上には及ばず売上確保が厳しい状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

０金利解除の影響から、住宅ローンの金利上昇傾向も影響し、新築住宅の着工件数が大幅に減少し売上確保は厳しい状況が続くと思われる。リフォーム受注は増加の傾向にあるが、今後の受注見込みについては、案件も少なく不安定な状況が続くと思われる。

■全国の景気動向

資材高騰の影響が大きく、住宅着工数が大幅に減少している。公共工事が極めて少ない。又、工事が長期化し未請求が増え資金が前倒し傾向にある。人手不足の為に案件があがってきても受注できない。材料費や労務費の高騰を完全に転嫁できない状況である。建設業の 2024 年問題をどのようにクリアしていくか課題が山積している。

■県下の景気動向

資材高騰の影響が続いており、建築加工単価の上昇分が継続的に発生している状態である。新設工事も減少しており、市場の回復は厳しい状況となっている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

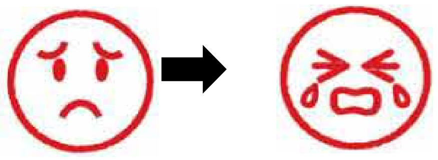
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	1	2	1	1	0	0	5	20.0%
不変	0	7	0	1	2	2	12	48.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	2	3	0	2	1	0	8	32.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

回答率：100%（25/25）

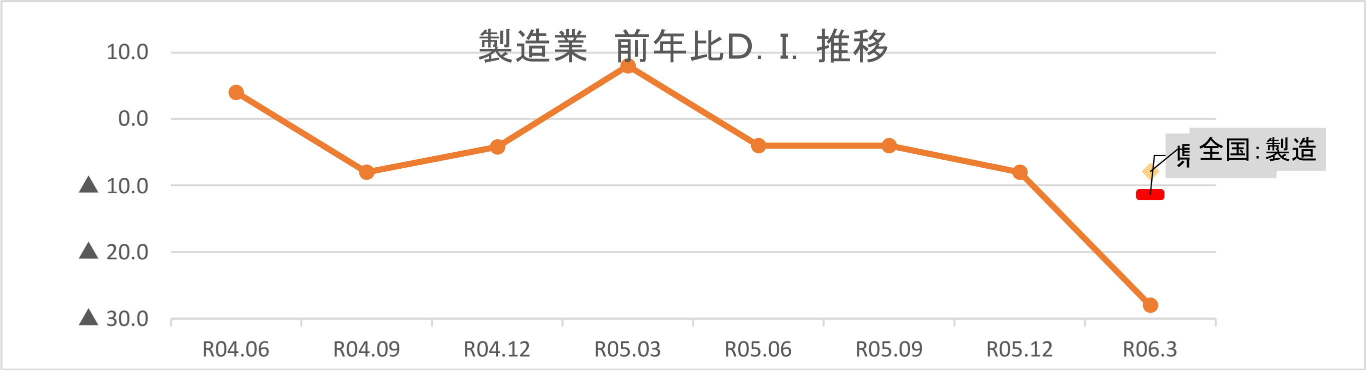
２０２４年１月～３月期調査

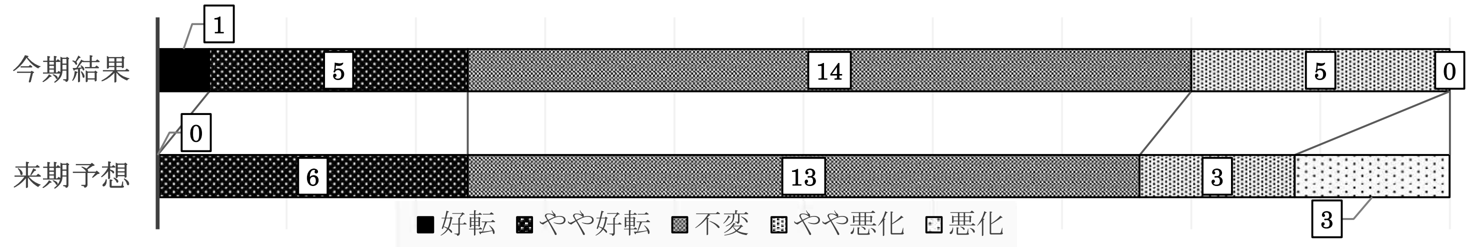
今期　見通し



■丹波市の景況推移

全国・県平均より大幅にマイナス方向へ振れており、受注量の減少に加えて円安や原材料の高騰に伴う経費の上昇、人件費の増加等が景況感に影響を及ぼしている。新設備や DX 化等の導入による生産性の向上が必要となる。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

プラスチック製品は受注増もしくは安定傾向にあるが、金属加工品は最終完成品（車両等）が滞留し在庫過多となり、今期は受注減となっている。いずれも原材料、経費（人件費含む）共に高騰しており、価格転嫁が間に合わず利益を圧迫している他、好調な分野においても人材不足がネックとなり拡販できない状況にある。

【丹波市の来期の景況予想】

経費を削ることも難しく、価格転嫁をしても利益を確保できない状況で、受注の復活及び在庫の解消が進むのは当分先になる見込みであり、厳しい状況が続くことが予想される。

■全国の景気動向

原材料単価の高止まりや円安の影響により、価格転嫁が進んでも利益を圧迫する状況が続いている。競合他社が廃業等により減少している品目については受注増加傾向にあるが、吸収できる事業規模が必要であり、小規模・零細企業は新規取引先を開拓する必要に迫られている。今期については能登半島地震や自動車メーカーの稼働停止等も大きく業績に影響している。

■県下の景気動向

売上の減退・減少に起因し全ての DI（業況・売上高・収益）が悪化しており、資金繰り状況が引き続きマイナスとなる予測が持たれている。当面の重点施策として「販路を広げる」を挙げる企業が約半数を占める。

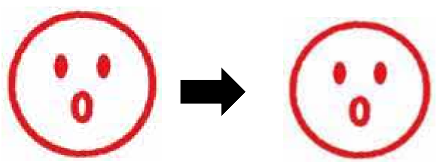
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	0	3	1	1	1	0	6	24.0%
不変	0	2	0	2	0	2	6	24.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	2	4	4	0	2	1	13	52.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

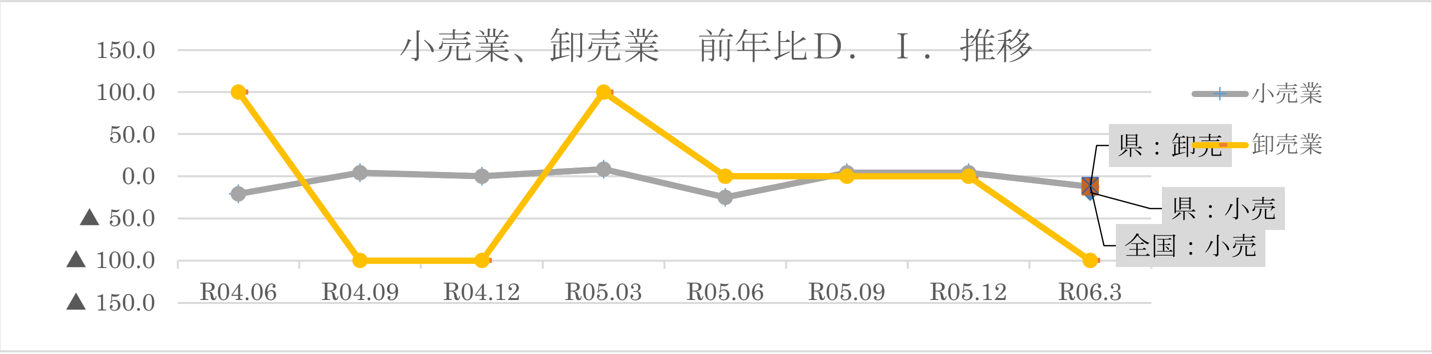
回答率：100％（25/25）

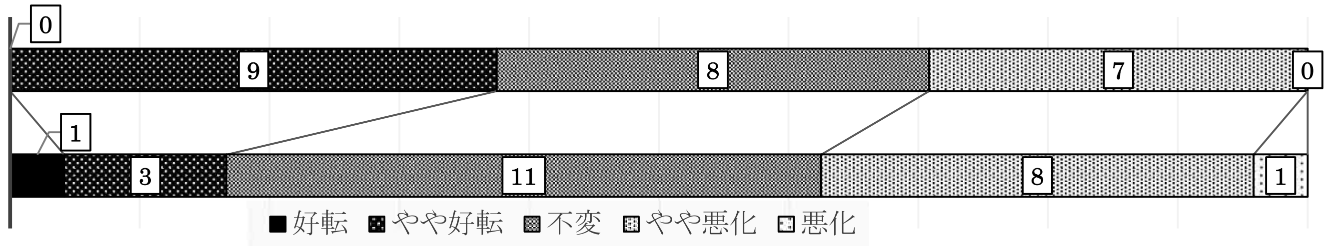
今期　見通し



■丹波市の景況推移

衣料品関連では、天候不順の影響によりお客様の外出が抑制され、来店客数、売上高ともに例年より減少した。食品販売業では、原材料高騰の影響により、売り上げ微増ではあるが、利益確保が難しい状況。





■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

衣料品関連では、例年であれば、お彼岸の時期から売上高も増加していくのであるが、今年は雪の影響や寒い時期が続いたことも影響し、お客様の外出が抑制され、来店客数、売上高ともに例年より減少した。食品販売業では、原材料高騰の影響により、価格転嫁を余儀なくされている。売り上げ微増ではあるが、利益確保が難しい状況。新たな商品開発で来店を促すなど対策をしているところもある。

【丹波市の来期の景況予想】

ようやくコロナ前の売上に戻りつつあり、飲食店向けの卸売、店頭販売も回復傾向にあるが、人件費、物価高騰の影響により利益確保が難しい状況が続くことが予想される。

■全国の景気動向

新年度に向けた生活用品等の需要が高まり、全業種で売上額ＤＩが大幅に上昇。衣料関連は、値上げが消費者に浸透し、採算面は安定し始めたが、気候変動等による季節的な需要予測が立て辛くなっている。耐久消費財関連では、自動車の生産調整により、消費者ニーズがあっても販売できなかったケースもあり、機会ロスが発生している。

■県下の景気動向

飲食料品小売関連事業者は、仕入価格高騰により採算が悪化している。また、人材確保が難しくなり業務縮小を検討している事業所もある。

■地区ごとの回答（前年同期比）

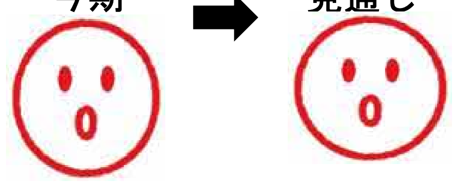
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	2	3	0	1	0	1	7	28.0%
不変	0	3	0	1	2	1	7	28.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	4	3	1	2	1	0	11	44.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100％（25/25）

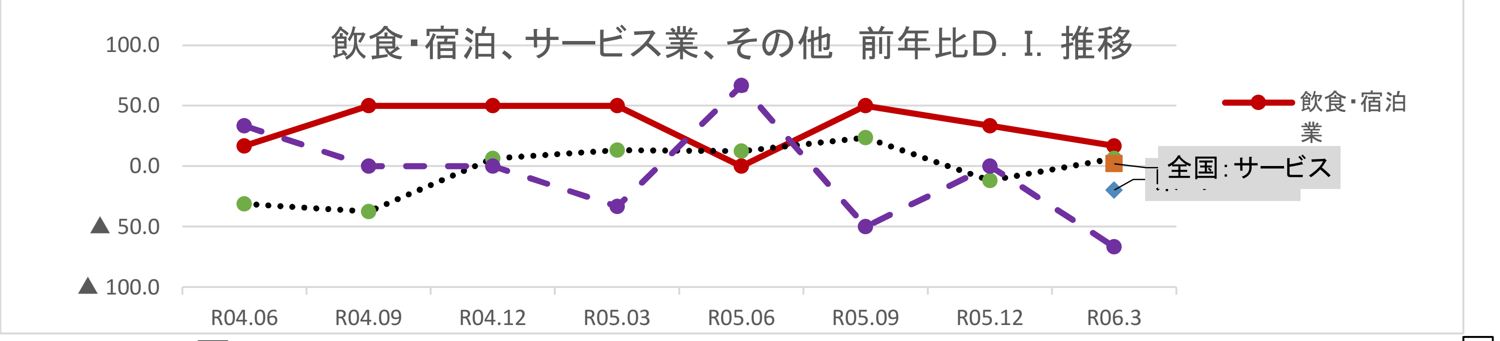
２０２４年１月～３月期調査

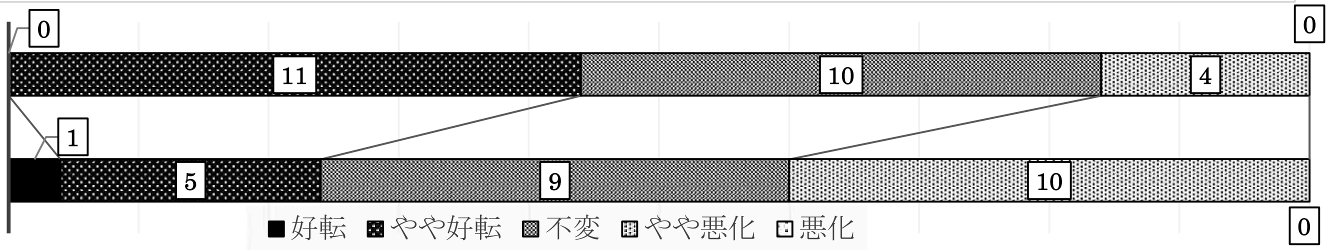
今期　見通し



■丹波市の景況推移

飲食業では夜のお客様は減少のまま。昼間、土日は売上が増加傾向にあるものの、サービス業全体で材料・光熱費等高騰の影響大きい。美容関連の事業所増加の一方で、コロナ以後、来店頻度は減少傾向。





■丹波市の景気動向

昨年から需要は回復傾向にあるものの、物価高騰等の影響で利益増加には繋がっておらず、依然として厳しい経営を余儀なくされている事業者も少なくない。また慢性的な人手不足により、業務委託、外国人労働者の雇用、営業時間の見直しなど、対応も様々。

【丹波市の来期の景況予想】

コロナ前ほどではないが需要は回復傾向にある。しかし、多くの業種で人手不足に拍車がかかり、各事業所対応に迫られると考えられる。また、都市部や一部の観光地でみられるようなインバウンド需要が地方に波及していくような見込みは今のところ見られない。

■全国の景気動向

全国的に見て、旅館宿泊業、理美容は客足が戻ってきており、観光地ではインバウンド効果もあり観光客数は微増傾向。ただ、コロナ渦で体力を奪われている事業者も多く、人口減少等の構造的な問題で利益を出せないという声も。

■県下の景気動向

各業種の中でも特に、サービス業は売上の停滞以上に人手不足が経営上の大きな問題となっている。
また商圏人口が減少しているにもかかわらず、同業者間の競争は激化しているなど、物価高騰以外にも様々な出来事が景気回復を妨げる一因になっている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い（増加＋やや増加）	0	5	0	1	1	0	7	28.0%
不変	5	0	1	3	1	1	11	44.0%
悪い（悪化＋やや悪化）	0	3	3	0	1	0	7	28.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%